

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社アーク 上場取引所 東
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 河本 俊之 TEL 06-6260-1040
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,723	△9.4	1,255	△25.1	1,186	△35.3	984	△63.5
26年3月期第2四半期	27,283	△41.6	1,675	△36.0	1,834	△11.8	2,697	28.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 570百万円 (△86.2%) 26年3月期第2四半期 4,138百万円 (81.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.25	4.19
26年3月期第2四半期	24.39	3.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	39,987	26,613	65.5	47.57
26年3月期	45,729	32,107	69.2	33.27

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 26,195百万円 26年3月期 31,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△9.0	3,200	2.4	2,800	△32.7	1,600	△81.3	5.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	338,657,431株	26年3月期	68,101,592株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	4,743,866株	26年3月期	4,743,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	147,629,215株	26年3月期2Q	63,357,726株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、前記の業績予想とは大きく異なることがありうることをご承知ください。なお、今後の見通しにつきましては、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済においては緩やかな回復基調が見られたものの、欧州経済においては内需の伸び悩み等により景気回復が足踏みし、中国を含む新興国における経済は低成長が続くなど、総じて弱い動きとなりました。国内においては消費税上げによる駆け込み需要の反動の長期化、また海外経済の下振れ等により先行き不透明な状況が続いております。その中で主力事業であるオートモーティブ事業においては、新規開発の遅れはあったものの、ユーザーの開発意欲は旺盛であり、下期にかけて需要の増加が見込まれております。

このような状況のもと、当社はグローバルに事業を拡大し、成長することを目指し連結経営管理体制の強化などの諸施策を講じてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高24,723百万円（前年同四半期比9.4%減）、営業利益1,255百万円（前年同四半期比25.1%減）、経常利益1,186百万円（前年同四半期比35.3%減）、四半期純利益984百万円（前年同四半期比63.5%減）となりましたが、当第2四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響を除くと、下表のとおり売上高は2,539百万円の増加（前年同四半期比11.4%増）、営業利益は190百万円の増加（前年同四半期比17.9%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結累計期間の、連結損益計算書に含まれる連結の範囲から除外された連結子会社の影響は以下のとおりであります。（下記表中の「差引」欄の各金額は、当第2四半期連結累計期間末において連結の範囲に含めております当社グループの売上高及び営業利益の合計額を示しております。）

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		
	連結損益 計算書	内、当第2四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引	連結損益 計算書	内、当第2四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引
売上高（百万円）	27,283	5,100	22,183	24,723	—	24,723
営業利益（百万円）	1,675	609	1,065	1,255	—	1,255

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①オートモーティブ事業

オートモーティブ事業におきましては、国内では、引き続き円安効果に支えられた輸出企業の活況を背景に、既存顧客の拡大に取り組んだ結果、増収となりました。一方、海外では、欧州は需要回復を捉え拡販しましたが、中国では景気の減速を受け受注は低調に推移しました。これらの結果、売上高14,757百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益1,082百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響はありません。

②エンジニアリング事業

エンジニアリング事業におきましては、航空機分野における設計派遣業の受注低迷や、顧客都合によるプロジェクトの中止などを受け減収となったものの、自動車分野で既存顧客を拡大しました。これらの結果、売上高5,434百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益165百万円（前年同四半期比53.3%減）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響はありません。

③コンシューマー事業

コンシューマー事業におきましては、国内では、アミューズメント業界の受注堅調により拡販すると共に、民生機器業界では需要回復の基調を受け順調に推移しました。一方、海外では、欧州において試作事業が好調に推移すると共に、アジアにおいても新規顧客の拡大により、好調に推移しました。これらの結果、売上高4,810百万円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益383百万円（前年同四半期比38.0%増）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間末までに連結除外した子会社の影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における総資産は39,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,741百万円減少致しました。

項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,196百万円減少し、27,460百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6,126百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ545百万円減少し、12,527百万円となりました。これは主に、有形固定資産が270百万円及び投資有価証券が173百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ248百万円減少し、13,374百万円となりました。これは主に、未払金が168百万円及びその他引当金(流動)が116百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,493百万円減少し、26,613百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4,867百万円及び為替換算調整勘定が367百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末の15,864百万円から当第2四半期累計期間に減少した資金6,129百万円を差し引いた9,735百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。なお、現金及び現金同等物に係る換算差額により、資金が148百万円減少しております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は677百万円(前年同期比1,167百万円減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,264百万円、減価償却費628百万円、売上債権の増加額1,180百万円、その他流動資産の増加額178百万円、その他流動負債の増加額312百万円、法人税等の支払額228百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は356百万円(前年同期は3,345百万円の収入)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入259百万円、有形固定資産の取得による支出609百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6,302百万円(前年同期比489百万円増)となりました。これは主に自己株式の取得による支出6,020百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月5日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,980	9,854
受取手形及び売掛金	12,327	13,143
電子記録債権	353	436
商品及び製品	355	340
仕掛品	828	846
原材料及び貯蔵品	750	788
繰延税金資産	448	429
その他	1,851	1,818
貸倒引当金	△238	△197
流動資産合計	32,656	27,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,713	6,682
減価償却累計額	△4,118	△4,185
建物及び構築物(純額)	2,594	2,497
機械装置及び運搬具	8,995	9,068
減価償却累計額	△5,213	△5,367
機械装置及び運搬具(純額)	3,781	3,701
工具、器具及び備品	2,812	2,830
減価償却累計額	△1,805	△1,861
工具、器具及び備品(純額)	1,007	969
土地	1,834	1,820
建設仮勘定	268	227
有形固定資産合計	9,486	9,215
無形固定資産		
のれん	1,205	1,153
その他	404	450
無形固定資産合計	1,610	1,604
投資その他の資産		
投資有価証券	1,178	1,005
長期貸付金	31	29
繰延税金資産	42	30
その他	768	670
貸倒引当金	△45	△28
投資その他の資産合計	1,976	1,707
固定資産合計	13,072	12,527
資産合計	45,729	39,987

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,576	3,513
短期借入金	70	3
1年内返済予定の長期借入金	125	109
リース債務	194	174
未払金	675	506
未払法人税等	764	848
未払費用	1,323	1,557
前受金	2,497	2,630
賞与引当金	732	692
その他の引当金	191	75
その他	911	963
流動負債合計	11,062	11,076
固定負債		
社債	30	15
長期借入金	127	79
リース債務	450	356
繰延税金負債	1,698	1,623
再評価に係る繰延税金負債	14	14
役員退職慰労引当金	5	—
その他の引当金	103	69
退職給付に係る負債	125	135
その他	3	2
固定負債合計	2,559	2,298
負債合計	13,622	13,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	12,080	11,908
利益剰余金	17,242	12,374
自己株式	△9	△9
株主資本合計	31,312	26,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	63
土地再評価差額金	△162	△162
為替換算調整勘定	388	20
その他の包括利益累計額合計	337	△78
少数株主持分	456	417
純資産合計	32,107	26,613
負債純資産合計	45,729	39,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	27,283	24,723
売上原価	20,705	19,706
売上総利益	6,578	5,016
販売費及び一般管理費	4,902	3,760
営業利益	1,675	1,255
営業外収益		
受取利息	46	16
為替差益	393	—
持分法による投資利益	21	72
その他	141	79
営業外収益合計	602	167
営業外費用		
支払利息	370	76
為替差損	—	68
その他	74	92
営業外費用合計	444	237
経常利益	1,834	1,186
特別利益		
固定資産売却益	64	30
投資有価証券売却益	0	76
関係会社株式売却益	1,228	—
その他	58	—
特別利益合計	1,351	106
特別損失		
固定資産除売却損	19	23
事業構造改善費用	1,048	—
減損損失	14	—
その他	45	4
特別損失合計	1,127	28
税金等調整前四半期純利益	2,058	1,264
法人税、住民税及び事業税	470	281
法人税等調整額	△1,288	△18
法人税等合計	△817	263
少数株主損益調整前四半期純利益	2,876	1,001
少数株主利益	179	17
四半期純利益	2,697	984

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,876	1,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△45
為替換算調整勘定	1,193	△377
持分法適用会社に対する持分相当額	24	△8
その他の包括利益合計	1,262	△431
四半期包括利益	4,138	570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,860	568
少数株主に係る四半期包括利益	278	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,058	1,264
減価償却費	837	628
減損損失	14	—
のれん償却額	51	51
賞与引当金の増減額(△は減少)	182	△33
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△149	△34
受取利息及び受取配当金	△51	△18
支払利息	370	76
固定資産除売却損益(△は益)	△45	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△76
関係会社株式売却益	△1,228	—
事業構造改善費用	1,048	—
売上債権の増減額(△は増加)	204	△1,180
たな卸資産の増減額(△は増加)	20	△86
仕入債務の増減額(△は減少)	△366	30
その他の流動資産の増減額(△は増加)	14	△178
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△26	19
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△727	312
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△10	△3
その他	△426	△13
小計	1,809	765
利息及び配当金の受取額	68	18
利息の支払額	△335	△55
法人税等の支払額	△481	△228
法人税等の還付額	94	177
保険金の受取額	689	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,845	677

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△97	△3
定期預金の払戻による収入	209	—
投資有価証券の売却による収入	206	259
関係会社株式の売却による収入	1,494	—
有形固定資産の取得による支出	△1,099	△609
有形固定資産の売却による収入	331	102
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,060	—
過年度関係会社株式売却代金の回収による収入	203	—
長期貸付金の回収による収入	41	2
その他	△3	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,345	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△12	△66
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△90	△96
長期借入れによる収入	37	3
長期借入金の返済による支出	△5,649	△67
社債の償還による支出	△15	△15
自己株式の取得による支出	—	△6,020
少数株主への配当金の支払額	△83	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,812	△6,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	718	△148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	96	△6,129
現金及び現金同等物の期首残高	22,509	15,864
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△1,279	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,326	9,735

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年7月29日付で、資本金及び資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が10,171百万円、資本準備金が3,898百万円、その他資本剰余金が2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,000百万円、資本剰余金が12,080百万円となっております。なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年8月26日付で㈱地域経済活性化支援機構による金銭対価取得請求権行使を受け、6,020百万円で自己株式として取得したA種優先株式100,000,000株の全てにつき、平成26年8月27日付の取締役会決議に基づき消却を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金171百万円及び利益剰余金5,848百万円が減少し、当第2四半期連結累計期間末において自己株式が9百万円、資本剰余金が11,908百万円、利益剰余金が12,374百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 3
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシュー マー事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	13,361	4,951	3,871	22,183	5,100	—	27,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高 (注) 4	118	10	117	247	—	△247	—
計	13,480	4,961	3,988	22,430	5,100	△247	27,283
セグメント利益	1,144	354	277	1,776	609	△711	1,675

(注) 1. 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売却した子会社の情報を表示しております。

2. セグメント利益の調整額△711百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△704百万円、セグメント間取引消去による発生額△7百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高には、比較可能性を確保するため、報告セグメントである「オートモーティブ事業」、「エンジニアリング事業」及び「コンシューマー事業」間の取引から発生した金額を表示しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシュー マー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,632	5,413	4,676	24,723	—	24,723
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124	21	133	279	△279	—
計	14,757	5,434	4,810	25,002	△279	24,723
セグメント利益	1,082	165	383	1,630	△374	1,255

(注) 1. セグメント利益の調整額△374百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△373百万円、セグメント間取引消去による発生額△1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来報告セグメントを「開発支援事業」、「量産事業」及び「金型事業」の3区分としておりましたが、前連結会計年度以前の「量産事業」及び「金型事業」に含まれる連結子会社売却を契機に、第1四半期連結会計期間より事業区分の見直しを行っております。これにより、報告セグメントを「オートモーティブ事業」、「エンジニアリング事業」及び「コンシューマー事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しており、売却した子会社については変更後の報告セグメントに含まれない事業セグメントであるため、「その他」に区分しております。